

都市交通研究室

1. はじめに

都市交通研究室は、都市交通に関する今日的な課題に対応しつつ、将来の望ましい目標像を達成するための諸々の施策やそのパッケージ化、及び関連する検討手法や技術について調査・研究に取り組んでいます。検討対象は、広域都市圏からコミュニティまでの多様な空間スケールに及びます。今後も時代が要請するテーマを的確にとらえ、豊かな生活の実現を支援する調査・研究を進めていきたいと考えています。

2. 主な研究活動

(1) 受託業務

国や地方の行政機関や民間企業から調査研究業務を受託して活動しています。主な委託先は次の通りです。

- ・国関係
国土交通省（都市局、道路局、総合政策局、九州地方整備局、国土技術政策総合研究所）
- ・地方自治体
さいたま市、藤沢市、町田市、他
- ・高速道路関係
首都高速道路株式会社、名古屋高速道路公社
- ・民間企業
三菱地所株式会社、大丸有駐車協議会

(2) 学会活動・外部委員会等

土木学会、都市計画学会、交通工学研究会、日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM）の研究発表会や各種行事に参加しています。

また、交通まちづくりの実践研究小委員会（土木学会）、教育企画・人材育成委員会土木と学校教育会議検討小委員会（土木学会）に委員として参画しています。

(3) 自主研究活動

受託業務のほかに、自主研究活動を行っています。

これまで次のような自主研究を実施してきました。

- ・郊外生活に提供されるべきモビリティと公共交通の役割に関する調査研究
- ・学校教育におけるモビリティ・マネジメントの実施に関する研究 他

3. 主な研究テーマ

(1) 都市交通に関する施策展開のあり方に関する研究

将来に向けて、どのような交通施策を展開すべきかについて調査研究を行っています。

- ・ハード整備とソフト施策の連携
- ・土地利用施策と交通施策の連携
- ・モビリティ・マネジメント
(居住地 MM、事業所 MM、学校教育 MM)

(2) 都市交通に関する実証的な計画策定方策

上記の各項目の知見を活用し、実際のフィールドにおいて、交通計画の策定を行っています。

複数の地方自治体を対象に、交通マスタープランや総合都市交通戦略などの総合都市交通体系に関する計画策定、コミュニティバス導入や駐車場整備計画等の個別計画策定に取り組んでいます。

(3) 社会潮流にあった交通需要予測分析

合理的な意思決定を支援する上で、どのようなデータを収集してどのような交通需要の予測・分析を行うことが適切であるかについて調査研究を行っています。

(4) 都市・交通に関わる海外情報の収集整理

上記の各項目について、海外情報を収集し、我が国の都市・交通の取り組みへの適用可能性や、我が国の課題について調査研究を実施しています。